

四、八日の行程西湖に達す

三十一日烏標樹、三道河子、五道河子を経て行程約十二里安集海に達す。途上烏蘭烏蘇を去れば、雜樹林を成すこと一里餘、次で其の南側は、依然森林なるも北側は蘆葦の繁茂する中に間々榆樹及野棗樹を交へ、次で又雜樹林と成るも、南側は路外一千米突を距て、疎林を成すのみ。次で開濶地を経て安集海を距る約一里の處より、森林を通過し同地に入る。

明れば四月一日、四十里井を過ぎ、行程畧々前日と同じく奎屯に、二日、尙ほ前日と同じ行程を以て庫爾喀喇烏斯即ち西湖に着す。前程は初め約一里の處に到るまで叢林、他は開濶、一望千里の概あり。但し後程には、西風砂塵を捲き、天日爲めに濛々たりしも、氣候寒冷ならざりしは幸なりき。石河は其の河中より砂金を出す。且つ該河は近く高山峻谷より流出するが故に多年排出せし砂石は次第に嵩みて河積は兩岸附近の地より高く爲に河水自ら散漫し、現に一滴を認めず。

西湖は北京を距る一千四百三十四里に位置し烏魯木齊、塔爾巴哈臺、伊犁の三大要地を連結する道路の交叉點に當り、天山北路に於ける戰略上の要衝とせり。城